



第八号



発行所

〒370-0131 伊勢崎市境米岡二七九-二 浄土真宗本願寺派弘教寺内 寺報編集部責任者 玉田 忠 電話0二七0(七四)0五七三

### 母を偲んで

弘教寺住職 中山 英昭

去る十月一日、九十四歳を一期(いちご)として、前坊守である母が往生した。同月十一日の葬儀には、門信徒の皆さんを中心に、五百人近い方々が、会葬して下さいました。母の存在の大きさ、功績の大きさを改めて知らされた。

母は戦時中、祖母とともに、遠く戦地に行っている住職に成り代わり、また、戦後は地方公務員として勤める住職を支え、四人の子を育てながら、寺を守ってきた。

厳しい一面を持っていたが、門徒の皆さんを大切にしてきた母でもあった。記憶力のよかつた母だったので、門徒さんのことについて尋ねると、大抵は詳細に覚えていて、随分と助かつたものである。



前坊守 中山 基子

昭和四十七年に寺の仏教婦人会が創設されると、自慢の料理作りを活かし、毎月の例会では、会員の皆さんにレシピを配り、料理講習を実施した。会員の皆さんにとつて、昼食に、その料理を食べる楽しみもさることながら、家庭で、そのレシピをもとに新しい料理に挑戦する機会ができたことは、良かったのではないかと思う。私自身は、母の作ってくれた「酢豚」は絶品だったと思う。今一度食べたい料理の一つである。

五十代、六十代では、地域の公民館活動に参加したり、茶道や華道を習ったりと、若い時代に出来なかったことに積極的に取り組んだ母でもあった。お世話になった田島社中によるお花見茶会なども、弘教寺で催し、一所懸命に走り回っていた母の姿が、懐かしく思い出される。

八十代半ばで、脳梗塞を患ってからは、本堂に門徒の皆さんを迎えることができなくなり、寂しくも感じられた。しかし、婦人会、壮年会の集いの折に、皆さんが奥の部屋にいる母に声をかけて下さると、にこやかな笑顔で応えていた。その姿を見ると母にとつて、



いろいろな方に出会えることが、何よりの喜びだと知らされたことである。

現坊守の配慮で、婦人会や法要の折には、必ず参拝させていただいた。法要中など眠ることもあったが、参拝できている喜びを持っていたと思う。

寺に嫁いで以来、寺を守り、お念仏の日暮らしをしてきた母にとつて、九十四歳の往生を迎える最後の日まで、寺で過ごせたことは、この上ない幸せなことではなかったかと思う。

現坊守の細やかな介護あつてのお陰とただ感謝の一語である。と同時に、門信徒の皆さんや知友の皆さんが、暖かく接して下さいましたことに深く感謝申し上げます。

母の残した功績を思いつつ、お念仏のみ教えの繁盛のため、弘教寺のますますの発展のため、門信徒の皆さんとともに歩みたいと思う。

南無阿弥陀仏

## 前坊守様を偲んで

坂井 サク

十月二日、早朝の事でした。住職様より前坊守様ご逝去のお知らせをいただきました。

私はあまりにも突然のお話に、唯々呆然と暫く立ちすくんでいました。顧みますと前坊守様と私の出会いは勿論、仏婦発足よりの事でした。とても明るくご聡明なお人柄と言う第一印象でした。

茶道、華道、礼儀作法の見識も高く、その上、お料理は得意中の得意。仏婦の私達に親切にご指導下さいました。ご指導は厳しい中にも暖かく、その後の会食では粗撲(そぼく)な喜びにひたりました。講義も、その心髓にふれ「料理は愛情」と云う大切な基本の心を説いて下さいました。私は二人の娘にその心伝えていきます。誠に  
ご立派な先生でした。

又、教区の仏婦連盟大会が築地別院本堂にて開催された際、私の発表にご同行下され、貴重なご助言をいただきました。お陰様で無事大任を果たす事ができました。

晩年になり例会には現坊守様にやさしく手を引かれ、婦人会に参加され



るお姿は実に微笑ましゅうございました。この度、御年九十四歳の長寿を全うされ、愛しいご家族に見守られ、ご往生なされた前坊守様に深く感謝申し上げます。

中山 ハルエ

合掌

前坊守様には、長い間いろいろと大変お世話になりました。そして沢山の事を教えていただきました。

最近、仏婦の例会でお寺へ行きますとお茶の間の椅子に腰を掛けておられ、優しいお顔を見せて下さいました。そのお顔を見ただけで、ホツとした気持ちになれます。

以前は、永代経法要や報恩講法要の時にいつもきちんと和服に着替えられて、大勢の参拝者の前で「ようこそ、お参り下さいました」とご挨拶下さいました。そのお姿が強く印象に残っております。今でもこうした法要の時になると、あの時のお姿が目につかびます。

又、前坊守様と築地別院へ参拝した折に、式章を買って下さいました。そして「これは略式の式章ですから、お使いなさい。」とおっしゃって手渡されました。その時私は何とも言えない嬉しさで涙がでました。

その式章が今は形見となりました。前坊守様の暖かいお心を胸に、いつまでも大切に使用させていただきたいと思っております。合掌

菱沼 幸子

「お早うございます。」と毎月の例会の朝いつも台所から前坊守様にご挨拶していまし

た。色白のきれいなニコニコ笑顔が返ってきましたのに、そのお姿に触れられないのが残念でなりません。

つい先日まで現坊守様に、付き添われ膝掛けとお念珠、経典を手に持たせてもらって、私の隣に腰掛けられました。私が正信偈の頁を開いて差し上げますとお勤め下さいました。お茶の時には皆さんと



一緒に並んで、腰掛けておられました。前住職様が戦地に行かれ、お寺を守った戦争中のお話や物のない時なので、さつま芋を作り、お茶の手もみをした事など、大きな籠(へつつい)に薪をくべ、お斎(とき)の準備をしながら、私達にお話下さり、料理や作法の事など、元気なころにはいろいろ教えていただきました。

教区の一研修や、仏婦連盟二十周年記念大会も、前坊守様の引率で参加しました。

その教区仏婦連盟も、今年十月に五十年を迎え、会の発展にご苦労なされた、前坊守様は、さぞお喜びになつておられることでしょう。私達は前坊守様のご指導のお陰で、弘教寺仏教婦人会の今があることを、決して忘れません。

合掌



『弘教寺仏婦ハワイ研修報告!』  
本場フラダンスに挑戦! 野水 孝子

アロハ、ユカレリです。計画を立てて三年夢であったハワイ研修が、やっと実現できました。目的は本場のフラダンスのレッスンを受ける事、期待と不安が混じりつつホノルルに足を踏み入れました。本派本願寺ハワイ別院輪番の



戸島良三先生の暖かいお迎えを受け、本堂に参拝しお経をあげる。ホールで別院のフラダンスの仲間と合流し、フラダンスの交歓会が実現。お互いフラダンス愛好会の仲間として初対面ではない様な親しみを感じ、短い時間

でしたが和気あいあいの打ち解けた雰囲気でした。

二日目は、ラ・クレアにてフラダンスのレッスンを受け、基本の足、手の動かし方、そして難しい曲でしたが一曲伝受されました。皆、今までにない緊張の面持ちで、全員に英語で書かれた修了書が授与され、満足の笑顔になりました。ありがとうございます。感謝します。二つの目的が実現出来て何よりでした。

後は、観光・シヨッピング、ポリネシアンシヨールを見て感動し、スターサンセットデイナーやシヨールでクルーズを楽しみ、四泊六日のハワイ旅行が皆様のご協力で無事に終了しました。ありがとうございます! マハロ!

フラダンスのレッスン先生と修了書受領の皆さん



仏教の豆知識 (2) 『式章』について

門徒式章(もんとしきしよう)  
式章をかけ、念珠を持つことが、本願寺派(お西)の門徒の正式な服装と定められています。

式章は門徒の証となるものです。普段着に『式章』を着ければ正装と同じ扱いになります。

式章のつけ方は、平服の上にヒモの部分を下にして肩からかけます。表と裏がありますので確認して着用しましょう。

式章は家族全員が持ち、仏様にお参りするときは、必ず着用するようにしたいものです。子供用もあります。「式章」はお参りするときは、喜びごとでも、葬儀でも、内容を問わず、家庭でも、お寺でも、場所を問わず念珠とセットでいつでも着用するようにしましょう。

式章の取り扱い、念珠と同様に大切に扱い、畳の上や床の上など、歩行の場所に置いたり、持ったまま(着用したまま)トイレなどに行かないようにしましょう。専用の袋などに入れ物を用意すると良いでしょう。吉田



この豆知識は身の周りの仏事習慣で不明、疑問などを共に学ぶ場になりたいと思います。  
ご意見をお寄せ下さい!

**報恩講のご案内**

- 十二月一日 仏壮・仏婦合同報恩講
- 十三・三〇 遠夜法要
- 十四・〇〇 法話
- 十四・三〇 記念コンサート
- 十二月二日 報恩講法要
- 十二・三〇 法話
- 十四・〇〇 満座法要

三年ぶりに、瀬越、田嶋両氏によるデュオです。オーケストラの楽器チェロと皆さんも手にしたことのある馴染み深い楽器ギターとの組合せ。やさしいお二人の手柄が醸し出す音色に、又、酔いしれてみましょう。  
 あなただけが(パク・チョンウオン)、千の風になって(新井満)、ミステイ(ガーナ)、青春の輝き(カーペンターズ)など新曲もあります。

十二月一日(土)  
 十三時三十分  
 入場無料

チェロ  
瀬越 憲

ギター  
田嶋 道生

『デュオ・ドウ・セレナード』



お寺deコンサート・4 (報恩講記念)

**千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要参拝**

今年も九月十八日千鳥ヶ淵墓苑で、大谷光真ご門主のご臨席のもと大勢のお参りの方々と共に、第二十七回全戦没者追悼法要に、私達五名も参拝いたしました。ここにはアジア太平洋戦争で亡くなられた軍人、民間人にいたる三十五万人もの方々の遺骨が納められているそうです。今、宗門では「世のなか安穩なれ」のスピーチのあとに、『命の尊さ』『平和の大切さ』を呼びかけています。私達は、この思いを次世代にしっかりと語り伝えなければいけないと、一層強く感じた参拝でもありました。

私は、小学校の時に太平洋戦争が始まり、戦地の兵隊さん宛に学校から、まとめて慰問袋と称して生徒の絵や手紙を、送ったことを思い出しました。戦地(中国)の兵隊さんから、個人に手紙が届き、何度か文通したのを覚えています。スケッチの上手な兵隊さんで、花の絵が描いてあり、とてもうれしかったです。いつからか途絶え、悲しくて泣いたことを思い出します。



念珠を手に合掌しながら、こんな想い出に胸がつかまってきました。こうした人達により今の幸せをいただいているのだと。感謝の日でした。

(玉田 ミ)

**編集後記**

暦も少なくなり遅い紅葉の知らせが届き「だより」の編集に入る時、弘教寺前坊守様がご往生されました。深い悲しみにも関わらず、ご住職と婦人会の方による執筆と現坊守様のご協力と皆様に「第八号」が届けられます。感謝を申し上げます。一方、本場フラダンスを習得されたユカレリのご活躍を『乞う』ご期待！(M・H)

**行事予定 (平成19年12月～平成20年03月)**

月別	弘教寺の行事予定	教区・群馬組の行事予定
12月	1日 合同報恩講(お寺deコンサート)	8日 教区仏壮連盟理事会
	2日 報恩講法要	18日 組内会
	18日 婦人会例会	26～27日 教区少年連盟一泊研修会
1月	1日 元旦会	
	18日 婦人会例会(一龍齋春水講談会)	13～15日 本山御正忌報恩講法要 北ブロック参拝(群馬組=14日)
	27日 役員新年会	
2月	19日 婦人会例会	3日 門信徒会運動研修協議会
	24日 壮年会例会	4日 若宮苑涅槃会(群馬組ビハラ)
		16～17日 教区仏壮連盟結成記念日研修 村トリティ横須賀(担当三浦組)
3月	20日 春彼岸	3日 教区仏婦一日研修会
	28日 婦人会例会	8日 教区仏壮連盟理事会